

LSEG country risk ranking

国と地域の地政学的リスクを算出



LSEG RISK
INTELLIGENCE

世界の貿易網は、グローバル化によってかつてないほど 多国間に広がっています。その結果、多くの企業が経験の乏しい地域に進出し、未知の企業と提携するようになりました。

金融活動作業部会 (FATF) や米国司法省などの主要機関は、企業に対して業務を展開する地域 (政府との接触も含む) の地理的リスクの評価を義務付けています。しかし、さらされているリスクは、米国の海外腐敗行為防止法や英国の贈収賄防止法の違反に関連するリスクにとどまりません。マネーロンダリング防止の法規制 や輸出制限に積極的な国なのか、規制の緩い国なのかといった点を企業は確認 する必要があります。

Country Risk Ranking (カントリー・リスク・ランキング) ツールは、企業が取引を始める前に、その国や地域に関する 高度なリスク分析が実施できる非常に強力なツールです。

地政学的リスクの軽減に不可欠なツール

240を超える国と地域について、リスクに基づく詳細情報を犯罪、経済、政治要素 に分類して提供します。地政学的リスクのスクリーニングは、リスクに基づいた法令遵守のベスト・プラクティスの一環です。このスクリーニングによって、マネーロンダリング防止 (AML) や汚職防止に関するデューデリジェンスが容易となり、なじみのない国や新興市場でビジネスを始める際に情報に基づいた意思決定を行うことができます。

リスク・ランキング手法の開発

国は複数のリスク区分 (非常に高～非常に低) に分類されるため、追加のデューデリジェンスが必要なリスクの高い国に所在するサードパーティを分析することができます。

コンプライアンス担当者は、リスクが「非常に高い」および「高い」の国を拠点とする、またはその国で事業を展開するベンダーやパートナーを抜き出すことで、最も注意が必要な地域にリソースを振り向けることができます。

利用可能な国と地域

240を超える国と地域を網羅しています。国と地域を分けているため、ある地域の規制環境が、その地域が属する国の規制環境とは異なる場合に、リスクに関するより正確な情報の提供が可能となります。

利用可能なソースと情報更新

50以上の定評ある国際組織とシンクタンク提供の300を超える独立した情報ソースを用いて、客観的事実に基づくランキングを提供します。

例:

- 世界銀行
- FATF
- 世界経済フォーラム
- OECD
- 欧州連合
- 国連
- CIA – ザ・ワールド・ファクトブック
- トランスペアレンシー CPI

Country Risk Rankingは、情報元となる資料が入手可能になり次第すぐに更新されるため、提供ソースからの最新情報が確実に反映されます。

リスク要因	政治	経済	犯罪
分野	ガバナンスのタイプ	GDP	違法薬物・麻薬
	人権・政治的権利	天然資源	不正行為
	報道の自由	貧困	AML 規制
	政治的安定性	税関連の問題	
	政府の有効性	負債	安全を脅かす活動への資金供与
	政府の不透明度	軍事費	犯罪率
	規制当局の質	政府債務／公的債務	人身売買
	法規制	平均所得	汚職
	政治テロ指標	経済的自由度	暴力の不在
	武力紛争	ソブリン信用格付	武器輸出規制
	人権	発展途上国	偽造
	破綻国家指数	制裁	搾取的労働

出所: 300を超えるサードパーティのパブリック・ドメイン・ソース

主な用途



客観的な意思決定

顧客の本人確認 (KYC) スクリーニングで検出された先が 真に疑わしい先であった場合、取引関係 (顧客、パートナー、またはサードパーティ) を促進すべきかどうかを判断する必要があります。カントリー・リスクの情報は、判断する際の強力なツールとなります。



サプライヤーのオンボーディング

グローバルなサプライチェーンを有する企業は、FCPA (米国の海外腐敗行為防止法) や UKBA (英国の贈収賄防止法)** などの厳格な汚職防止法の適用対象となります。カントリー・リスクの情報は、地政学的なリスクを軽減し、最新動向を常に把握するために欠かせないツールです。



リスク・ベースのPEPスクリーニング

KYCスクリーニングでフラグがついたPEP (重要な公的地位を有する者) に潜在的な地政学的なリスクがないかを確認できます。



製品の新作発表または販売

例えば、特定の地域における企業リスクや偽造の蔓延などの情報に基づき、新作発表や販売活動の企画や制限を実施できます。



慈善団体 / ドナーの援助

どの国がマネーロンダリングや汚職のリスクが高いかを判断し、例えば特定の国の政府組織を援助すべきかどうか、リスクに応じた厳格なコンプライアンス要件を策定することができます。



取引モニタリング

地理的条件に基づくリスクについて疑わしい口座をスクリーニングし、デューデリジェンスの取り組みを強化することができます。

利点:

- すべての情報源から関連する内容を参照し、国をリスクに応じてランク付け
- 国を重層的に分析
- FATF勧告に基づくリスク・ベースのアプローチ
- 300を超える信頼のおける最新のソース
- 監査可能なデューデリジェンスの証拠文書とダウンロード可能な報告書を表示
- ソースのインプットとウェイトをカスタマイズし、自社のリスク・アプローチを反映
- リスク区分をカスタマイズし、自社のリスク分類方法を反映



Country Risk Rankingデータへのアクセス*

Country Risk RankingとWorld-Check Risk Screeningを組み合わせる:

両製品独自の機能を活用することで、顧客のデューデリジェンス・スクリーニングを World-Check Risk Intelligenceで行うと同時に、Country Risk Rankingの機能を利用して地政学的リスクを確認することができます。

スタンドアロン

すべての機能とカスタマイズ、レポートのダウンロード、ソースの情報(記録目的)を利用できます。

データを直接ダウンロードするオプションもあります。データ・ファイルは直接社内システムにインポートが可能です。Country Risk Rankingのデータ・ファイルは、CSV、XLS、XML、PDF形式でコンテンツを迅速かつ効率的にダウンロード可能で、業界標準のセキュリティ・プロトコルにも準拠しています。

Infrastructure 360アプリでの利用

LSEG Workspaceでご利用いただけるInfrastructure 360 (インフラストラクチャー 360)は、45年以上の実績を持つ Project Finance International (PFI) の業界をリードするコンテンツを、Lipper、Deals Intelligence、DataStream、Loans、ロイター・ニュース、ESGデータと融合することで、インフラおよびプロジェクト・ファイナンスに関する世界で最も包括的なインサイトを提供します。

LSEGのCountry Risk Rankingデータは、Infrastructure 360で利用でき、投資や提携を検討しているプロジェクトに関連する所在地ベースのリスクを確認することができます。

「Insight」タブに移動して「Country/Region Risk」を選択すると、特定の国や地域と紐づけられている包括的なリスク・レーティングが表示され、意思決定プロセスを迅速化できます。

最新かつ客観的で、カスタマイズされた、地域と国の多層分析は、効果的な顧客デューデリジェンス・コンプライアンス・プログラムにとって不可欠です。

ウェブサイト：lseg.com/jp



LSEG RISK
INTELLIGENCE